

平成 28 年 10 月 28 日 (金)

第 2 回 図書館ミニ講演会



ミニ講演会 2 回目は、シダ植物の研究で博士号を持っておられる理科の田中崇行先生を講師に迎え、行われました。

【シダ植物生態学者が語る シダ植物と研究者の生き方】

1. 生き立ち
2. 研究者の生活の話
3. 研究の話
4. 質問タイム



白衣姿でペット？のシダの鉢植えを持って登場した田中先生。「奇しくも校長先生と同じく図鑑が大好きな小学生でした！」と自らの生き立ちからお話をスタート。

学生生活のようす、研究者としての運命の出会い、科学雑誌への論文投稿や研究者の生活実態を熱弁。「4分間の面接で2年分の研究費と生活費が得られるかどうかという体験は、ものつっすごいプレッシャーだった！」など、パワフルな身振りと言調に参加者は前のめりです。また、ポストドク問題なども紹介してくださり、今の日本で研究を続けるということが、非常に大変なことなのだという話も話してくださいました。



←「研究者は、全世界の英知をほんの少しずつ広げていくという、素晴らしい仕事をしているんです！」…同じく研究者である校長先生が、最前列でうなずいています。

会場は30名を超す参加者で図書館が狭く感じるほどでした。90分近い講演でしたが、アンケートによると講演時間は「ちょうどよい」という意見が一番多く、参加者は大満足の表情で帰っていきました。

参加者からの質問&メッセージより

- ・楽しかった。先生の授業を受けてみたいと思いました。
- ・ accept
- ・自分も生物系の将来を考えていたので、情報が得られてよかったです。
- ・オランダのポルダー地形のような海拔0メートル以下でもシダの研究はあるんですか？
- ・1500 万年前の環境はどんな感じだったのですか？

次回のミニ講演会は、外部から講師をお招きします！（11月8日）